▲能代市の須藤幸紀
教育長へ贈呈

白神トピックス

管内の小学校へ教材を寄贈

生活課

ＪＡでは５月２日、くらしと農業の関わり、また米をはじめとした農畜産物の生産をテーマとした『農業とわたしたちのくらし』の教材本とＤＶＤを能代市教育委員会と藤里町教育委員会に贈呈しました。
教材の内容は小学校高学年児童を対象に作成され、生活を維持するために必要な「食」とこれを生み出す「農業」、「環境」と「農業」のかかわりなどについて写真やイラストを使ってわかりやすく説明しています。
この取り組みは平成20年度に始まり、今年で10回目を数えます。教材は今後、管内の小学校14校と特別支援学校１校に配られ、社会科や総合的な学習の時間などで活用される予定です。

▲藤里町の浅利美津子教育長へ贈呈

自慢の健苗で育苗技術を競う

稲作部会

稲作部会（堀内直富久部会長）は５月９日、苗の生育確認と生産者の育苗管理向上を目的に、管内３地区合同の健苗コンクールを実施しました。
コンクールには35点の健苗が出品され、ＪＡの営農指導員や山本地域振興局普及課職員が、葉の色や根の張り具合、苗揃えなど審査し、特に優れた健苗10点が絞り込まれました。その後、発根長や乾物重などを測定した結果、大塚健二さん（河戸川）の苗がみごと最優秀賞に輝きました。優秀賞・優良賞は以下の通りです。
▽優秀賞＝斉藤金徳、工藤仁五ェ門、渡辺俊市、小栗和夫
▽優良賞＝茂呂　誠、安井鐘悦、高橋豊彦、佐々木靖夫、工藤次雄

▲審査員が苗を厳しく審査

▲生育状況を各圃場で確認

生育の確認と病害虫の防除徹底を呼びかける

きゃべつ部会

きゃべつ部会（工藤武一郎部会長）は５月25日、生育確認と今後の管理を検討するため、きゃべつ現地研修会を実施しました。
生産者やＪＡ、山本地域振興局職員ら約25人が参加した研修会では、生産者の圃場３か所を巡回し、生育状況などを確認・指導しました。巡回した山本地域振興局職員からは「気温が高くなるにつれて害虫が急激に増加するおそれがある。圃場の状況を確認しながら定期的な防除を徹底してもらいたい」と注意を呼び掛けました。その後行われた栽培検討会では、今後の管理の確認や対応策、収穫時期などについて話し合いました。